

令和5年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22042	事業名	まちの記録編さん事業		評価分類	B1	
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()						
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		予 算 科 目	会計	01:一般会計	
		基本施策	10:歴史文化を生かしたまちづくりの推進			款	10:教育費	
		施策の方向	04:歴史資料の公開・活用による地域や学校との連携			項	05:社会教育費	
重点プロジェクト	02:「まち紡ぎ」プロジェクト		目	06:博物館費				
事業期間	R 4 年度 ~ R 6 年度	主な根拠法令等		-				
		担当部署						
		部		市民文化部				
		課		歴史博物館				

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	平成から令和において目まぐるしく変化する亀山市の移り変わりの記録を編さんし刊行することは、今に暮らす市民や次世代の市民への継承に必要である。	市民、市の移り変わりに関心ある方々	まちの記録を編さんし、市の移り変わりを次世代へ継承する手がかりとしての刊行物を作成する。また編さんで収集した資料も編さん終了後に、市広報や博物館、図書館の活動などを通じ学校や地域で活用できるようにし、更に地元を知る機会を作る。	図書館や関係部署との横断的な編さん体制の下、編さん方針を決定するとともに、地域資料・写真・新聞スクラップなどの抽出・収集や原稿執筆を行い、平成元年から令和までの市の移り変わりを記録した冊子として刊行する。なお、この刊行物は節目となる市制施行20周年の年となる令和6年度3月に刊行する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○編さん方針の決定	○地域資料や写真等の抽出・収集 ○原稿執筆、デザイン・レイアウト検討 ○カメラマンによる空中写真や風景写真の撮影	○地域資料や写真等の抽出・収集 ○原稿執筆、デザイン・レイアウト編集 ○記録書の刊行 ○発送		
	活動実績 (計画通り実施できたか)	作業部会において、刊行物による「まちの記録」として扱う時期を、平成元年から令和の現在までとして、文章による亀山市の行政等の歩み、写真による現在の風景、年表、索引の基本構成を固め、文章の目次構成原案を作成し、執筆準備を行った。また、写真に残したい今の風景をどのように募集するかを検討し次年度への課題とした。	平成元年度から令和5年度までの広報記事の抽出し、執筆原稿に合わせて広報Gより提供を受けた画像から掲載するものの抽出作業等を行った。関係課のチェックや情報提供を得て第7章の執筆終了後入稿し、委託で組んだデザイン、レイアウトの基本形を作った。引き続き他の章についても執筆している。委託撮影は空中撮影が6分の1、地上撮影は5分の1が終了した。			
計 画 予 算 額	事業費	0千円	6,400千円	5,139千円	6,100千円	
	国・県支出金	0千円				
	地方債	0千円				
	その他	0千円				
	一般財源	0千円	6,400千円	5,139千円	6,100千円	
決 算 額	事業費	0千円		5,138千円		
	国・県支出金	0千円				
	地方債	0千円				
	その他	0千円				
	一般財源	0千円		5,138千円		
①期間内計画額(R4-7)		12,500千円	②期間外計画額(R8-)	0千円	①+②総計画額	12,500千円

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	5,139千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	編さん作業の進捗率	活動	%	計画値		70	100	
				実績値		40		
				計画値				
				実績値				

進捗度合	評価理由
C あまり進んでいない	委託による空中撮影や地上撮影は1年目が終了し、2年目の撮影箇所の確認をすることができたが、原稿執筆は予定より遅れている。

事業の対象	事業の目的
市民、市の移り変わりに関心ある方々	まちの記録を編さんし、市の移り変わりを次世代へ継承する手がかりとしての刊行物を作成する。また編さんで収集した資料も編さん終了後に、市広報や博物館、図書館の活動などを通じ学校や地域で活用できるようにし、更に地元を知る機会を作る。

事業の進捗度合を踏まえた課題事項
⑥ 課題 (C)
予定している第1章から第13章までの本文執筆のうち、残り12章分を令和6年度に執筆、関係課での確認、入稿するため、執筆作業をスピードアップする必要がある。構成の一部となる写真ページについて、掲載配列を固めるため目次を立てることが必要である。撮影画像の確認と委託撮影の進捗管理を引き続き行う必要がある。

方向性	
⑦ 事業の展開 (A)	
継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する	
改善・見直し内容	
令和6年度で対応する(した)もの 計画では本文各章のページ数を均等に割っていたが、執筆完了、執筆作業中の中では、章によってページ数に強弱が生じている。そこで、当初の全体ページ数を維持するとともに、写真ページや年表、索引等の各構成のページを調整していく。	令和7年度以降で対応するもの 令和6年度で事業は終了するが、撮影した画像の利用のデジタル保存等について、令和6年度中に、作業部会で検討し、令和7年度から利用活用していく

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
⑧ 履歴		C		
進捗度合				
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)		

1次評価者	市民文化部 歴史博物館長 小林 秀樹
最終評価者	市民文化部 歴史博物館長 小林 秀樹